



# 読書のすすめ

## 学校では・・・

- ・図書室の使い方、本の扱い方を学習します。
- ・教科指導と関連を図った読書の学習をします。
- ・委員会から、新書などのお勧めの本を紹介します。
- ・朝読書…朝の支度ができた人から読書をします。  
(月2回のロング読書の時間があります。)
- ・読書週間…全校で共通の読書カードを使用して取り組みます。
- ・長期休業中の読書を勧めます。
- ・地域ボランティアの方による読み聞かせがあります。(月2回)
- ・学校図書館ボランティアの方々による読書推進活動に取り組んでいただきます。(環境整備、新書紹介等)
- ・親子読書を6月、11月、2月に計画します。  
詳しくは右記をご覧ください。



この機会に、ぜひ  
取り組んでください!

## 読み聞かせのポイント

- ・親が聞かせたい本、子どもが読んでほしい物語の本を選びます。  
(例：親が幼少の頃読んだ本、絵がきれいな本、昔話 など)
  - ・表紙を見せて、題名を読みます。…題名は作者の思いが込められています。
  - ・絵や字が子どもに見えるように本を開きます。
  - ・読み終わったら、表紙に戻し、題名をもう一度読みます。
  - ・原則として、感想を聞きません。
- 何歳になっても、子どもは、本を読んでもらうことが好きです  
読み聞かせもお勧めします!



## うちどく 家読って何？

家庭読書の略です。学校によっては、親子読書、  
○○テイなど呼び名が違うこともあります。

### <効果>

読書意欲、学力向上、豊かな心(感性・情緒)  
親と子の心のつながり

→例：会話の中で、子どもの悩みや考え、  
将来の夢などの子どもの思いや  
心の成長に気付くこともある。

### <家読の取り組み方> ※実施日を決めて実施

- ① 家族で同じ本を読む
- ② 読んだ本で話をする
- ③ 感想ノートを作る
- ④ 自分のペースで読む
- ⑤ 家庭文庫を作る など

※家庭でやりやすいように約束事を決めて取  
り組むと良い。

### <本のジャンル>

- ・絵本…短い内容が深い。読みきることができる。
- ・推理小説…犯人を親子で推測しながら読める

